

平成22年7月29日

**第11回サイエンスカフェの開催について**

広島大学大学院理学研究科が主催する第11回サイエンスカフェを、下記のとおり実施します。今回は、**葉緑体にあいたピルビン酸のための穴**について、わかりやすく解説いたします。

興味のある方々の多数の参加をお待ちしておりますので、どなたでもお気軽に”サイエンスカフェ”にお越しください。

【タイトル】葉緑体に空いた穴

【日時】平成22年8月28日（土）14:00～16:00

【場所】la place（マーメイドカフェ広島大学店）  
広島大学東広島キャンパス

【話し手】古本 強（大学院理学研究科・准教授）

【聞き手】寺本紫織

【対象】年齢制限はありません。

【参加申込等】無料。定員50名程度  
（事前申込みの方に限り、ワンドリンクサービス）

【参加申込先】scicafe@hiroshima-u.ac.jp  
（担当：寺田健太郎、吉田啓晃、福原幸一、古本強）

【内容】

- ・細胞の中は膜ばかり
- ・「ものを通す」ことが「生きる」こと
- ・関所の通過は細胞のなかでも厳しい
- ・ピルビン酸の穴を探すために

ほか

【ホームページ】<http://home.hiroshima-u.ac.jp/scicafe/>

【お問い合わせ先】

理学研究科  
運営支援グループ（総務・企画担当） 松田 敏宏  
TEL:082-424-7306、FAX:082-424-0709



コーヒーを飲みながら聞く科学の話は楽しい サイエンスカフェへようこそ!

# サイエンスカフェ

広島大学 大学院理学研究科

第11回企画

# 葉緑体にあいた穴

～開けゴマの分子機構～



話し手: 古本強 (広島大学理学部准教授)

専門: 植物生理学、生化学

趣味: 釣り、養蜂

聞き手: 寺本紫織

【日時】平成22年8月28日(土) 14:00~16:00

受付開始開始 13:30

【場所】広島大学東広島キャンパス

la place マーメイドカフェ広島大学店

【対象】年齢制限はありません。

【参加申込等】無料。定員50名程度

(事前申し込みの方に限り、ワンドリンクサービス)

【参加申し込み先】[scicafe@hiroshima-u.ac.jp](mailto:scicafe@hiroshima-u.ac.jp)

担当: 寺田健太郎、吉田啓晃、福原幸一、古本強

【ホームページ】<http://home.hiroshima-u.ac.jp/scicafe/>





サイエンス  
カフェ

広島大学 理学研究科

コーヒーや紅茶を飲みながら、アットホームな雰囲気  
で楽しく「科学」について語り合いませんか？

授業や講演会などとは違う「科学を題材にコミュニケーションする空間」を演出したいと、広島大学理学研究科の有志が集まり、「サイエンスカフェ」活動を始めました。参加資格はたった一つ。

“身近な科学に触れてみたい方！”

これだけです。好奇心旺盛な皆様のご参加をお待ちしています。

## どんな感じのイベントなの…？

話し手の先生も聴衆の皆さんも、お互いにコーヒーを飲んだりお菓子をつまんだりしながら、くつろいだ雰囲気です。

進行役の“ファシリテーター”(聞き手)がときには小道具などを使って、話の内容をより分かりやすく皆さんに伝える手助けをしてくれます。



もちろん、話の途中で質問するのも大歓迎。でも、質問をしたくても手が挙げづらいこともありますよね？ そんな心配は、サイエンスカフェならば無用です！ 質問カードに聞きたいことを書き込めば、聞き手の方が皆さんの代わりに話し手に質問してくれます。

## さて、今回のサイエンスカフェは…

生きているすべてのものは、他と自らを区別する膜や、細胞内を区切る膜を持ちます。生きていくためには、膜内外での連絡通路、つまり、特別に物が通る「穴(扉)」が必要です。物が通過するとき、どのようにこの扉が開くのでしょうか。今回、葉緑体という細胞のなかにある一つの袋にあいた「ピルビン酸を通す穴」を見つけました。また調べていくうちに、この穴をあける呪文がわかりました。みなさんにこっそりお教えします。

